

大井町地域福祉計画・地域福祉活動計画

第4次大井町地域福祉プラン

みんな大好き！あったかタウン・おい



令和6年3月
大井町
大井町社会福祉協議会

第4次大井町地域福祉プランを策定しました

計画改定の概要

地域住民・地域団体・事業者・行政等が協働して、一層、地域福祉の推進に努めるために、情勢の変化に合わせて『大井町地域福祉プラン』を改定します。

本計画は令和6年度から令和11年度までの6か年の計画です。

計画の基本的な考え方

本計画の基本理念については、これまでの地域福祉の取り組みとの連続性、整合性から第3次大井町地域福祉プランの理念「みんな大好き！あったかタウン・おいしい」を引き継ぐものとします。

この基本理念に基づき、地域のあらゆる住民がそれぞれの役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」をめざします。

※計画の詳細は、町のホームページでご確認いただけます。

自助：町民一人ひとりができること

- ・あいさつや声かけを進んで行う
- ・隣近所や自治会の付き合いを大切にする
- ・趣味や体操などを行い、自らの健康づくりをする
- ・行事等に参加し、いろいろな世代と交流する

自助

互助：地域の人々でできること

- ・見守りや居場所づくり
- ・お互いさまの精神を大切に、互いに手助けする関係づくり
- ・自治会を中心とした災害時の救助・支援活動
- ・ふくしの会など既存の活動の充実

互助

共助

共助：制度化されたみんなで助け合うしくみ

- ・社会保険制度、介護保険制度など保険料などの負担によって、サービスを受けることができる制度の活用

公助：行政の責任として推進する公的な役割

- ・公的福祉サービス
- ・人材の育成、啓発活動
- ・バリアフリーを基本としたハード面の整備
- ・情報提供、相談支援体制の充実

公助

地域福祉とは、地域の人々がお互いに助け合う関係や仕組みをつくっていくことです。

「自助」「互助」「共助」「公助」それぞれの役割を発揮し、連携してお互いに支え合う地域づくりをめざしましょう。

重点施策

少子高齢化や家族形態の変化、価値観やライフスタイルの多様化によって、地域や家族のつながりがますます希薄になっています。アンケート調査においても、近所づきあいについて、「あいさつ程度がほとんど」「近所づきあいはほとんどしていない」という人が半数を占めており、その理由は「仕事などで家をあけることが多く、知り合いになる機会がない」が5割となっています。

地域住民が抱える多様な生活課題へ対応していくためには、地域の人々のつながりが重要であり、地域と関わり、福祉の担い手となる人材を育成していくことが必要です。

そのため、地域とのつながりや福祉の担い手づくりとして以下の取り組みを重点的に進めます。

- ①介護予防活動を入口とした地域活動へのつながりづくり
- ②地域防災を切り口とした地域福祉活動の推進

計画の具体的展開

基本理念「みんな大好き！あったかタウン・おい」実現のために、以下の施策を推進します。

[基本理念] [基本目標]

[取り組み]



